

2008年8月28日

システム・ダイナミクス学会日本支部 2008年度事業計画

JSD 理事会

(取扱:総務理事)

成立経過

概要:2008年度第2回 JSD 総会を開催し、理事会が事業計画を提案し、JSD 規約に則り、全会員の承認を求めた。

1. 総会名称 :JSD 2008年度第2回会員総会

2. 議長 :会長 森田道也

3. 期間 :2008年8月22日~28日

4. 議案

(1)2008年度事業計画案

(2)2008年度事業予算案

5. 開催方式 :公告メーリング・リストによるE 総会

(1)審議方法 :異論がある場合には、MLで返信する。

(2)結審方法 :8月28日12時(正午)の時点で、異論のメール数が会員数の過半数以下であった場合には、事業案が承認されたものとする。

6. 会員数 :114名(2008年8月22日時点)

7. 異論の返信数 :0通

8. 結論 :上記7の結果、次ページ以降の2008年度事業計画は承認された。

1. 2008 年度事業計画

(2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日)

1. 1 JSD 研究会

1. 1. 1 JSD 研究会(首都圏)

- (1)担当: 小林秀徳顧問、渡部淳一理事、藤本ヒトシ幹事
- (2)開催場所: 東京
- (3)開催時期: 2008 年 9 月～2009 年 5 月 19 時～21 時 合計 11 回
- (4)詳細: 添付資料—1

1. 1. 2 JSD 研究会(全国区)

- (1)研究会名称: 経営 SD ワークショップ&JSD 研究会 in 京都
- (2)主催: 同志社大学ビジネススクール(DBS)SD グループと JSD とで共催する。
- (3)担当: 栗本英和理事、小池昇司理事、福島史郎幹事、西川太一幹事
山口薫理事(DBS SD グループ代表)
- (4)開催場所: 京都・同志社大学ビジネススクール
- (5)開催時期: 2008 年 11 月 22 日(土)
10:30 ～ 12:00 経営SDワークショップ
13:15 ～ 17:30 JSD研究会
- (6)発表論文募集開始: 2008 年 10 月初旬
- (7)詳細 : 添付資料—2

1. 2 JSD 学会誌発行

- (1)担当: 福田敦理事、内野明理事、海老根敦子理事、田中伸英理事、森田道也会長、
石坂哲宏幹事、Atit Tippichai 幹事、岡村誠幹事、金子翔一幹事、谷亮太幹事
- (2)事業概要
発行回数: 1 回／年
発行時期: 2009 年 8 月
内容: 査読論文、発表論文、その他
ページ数: 150 ページ
発行数: 250 冊
販売価格: 2,500 円／冊
- (3)スケジュール
告示 : 2008 年 11 月
アブストラクト募集開始 : 2009 年 1 月中旬
採用決定通知 : 2009 年 3 月上旬
論文締切り : 2009 年 3 月下旬
査読 : 2009 年 4 月～6 月
掲載決定通知 : 2009 年 7 月上旬
発行 : 2009 年 8 月上旬
- (4)編集委員会: 福田敦リーダーが編集委員と査読委員を選任して JSD 公式のメーリング・リスト
でその人名を公表する。
- (5)詳細: 添付資料—3

1. 3 研究分科会の活動促進

- (1)担当: 全役員
- (2)目標と活動方針
3つ以上の研究分科会が活動を開始することを目指す。研究分科会の活動に参加して、
SD に関する実用的な価値を理解することにより、JSD に入会するきっかけとなることを期待
する。そのために、初年度に限り JSD 会員以外も研究分科会のメンバーとして登録して活動

できることとする。JSD 会員以外の登録については、研究分科会の主査の管理下において実施する。

1. 4 JSD カンファレンス開催

- (1) 担当: JSD 研究会(全国区)担当と事務局とによる協働活動
栗本英和理事、小池昇司理事、西川太一幹事、
松本憲洋事務局長、近藤史人理事、明神 知理事、蓮尾克彦理事
- (2) 開催場所: 名古屋・名古屋大学
- (3) 開催時期: 2009 年 5 月 23 日(土)
- (4) スケジュール
2008 年 12 月中旬 発表論文(要旨)の募集開始
2009 年 1 月 31 日 採否の発表
2009 年 4 月 10 日 発表論文(予稿集)の締め切り[厳守]
2009 年 4 月 25 日 発表論文(予稿集)の採否の通知
- (5) 詳細: 添付資料—4

1. 5 System Dynamics Society などでの国際交流の促進

- (1) 担当: 山口薫理事
- (2) 活動方針:
SDS 国際大会(ギリシャ・アテネ)については、JSD の公式メーリング・リストと JSD ホームページにより 2008 年 9 月中旬に報告する。

1. 6 SD 普及に向けた Web の充実

- (1) 担当: 近藤史人理事
- (2) 活動方針:
2010 年の SDS 韓国大会に向けて、JSD のホームページの英文対応を進める。

1. 7 総会の開催

- (1) 担当 : 事務局長(総務担当理事)、事務局担当理事
松本憲洋、小池昇司、近藤史人、蓮尾克彦、明神知、渡部淳一
- (2) 2009 年度総会開催期日: 2009 年 5 月に JSD 研究会(首都圏)に合わせて開催する。

1. 8 運営体制

- (1) 2008 年度 JSD 理事会のミッション
「JSD 理事会は、システム・ダイナミクスに関して会員に役立つ事業に取り組み、システム・ダイナミクスの普及を図ることにより、日本社会に貢献することを目指します。」
- (2) 理事会運営体制
会長 : 森田道也
副会長(会長補佐): 山内 昭
総務担当理事(Executive Director): 松本憲洋
国際担当理事(International Society Liaison): 山口 薫
JSD 研究会(首都圏)理事: 渡部淳一 (特別に、小林秀徳顧問が管掌)
JSD 研究会(全国区)理事: 栗本英和、小池昇司
JSD 学会誌理事: 福田敦、内野明、海老根敦子、田中伸英、森田道也

事務局: 松本憲洋(事務局長)

理事・事務局担当幹事:

近藤史人(HP の運営・管理)、蓮尾克彦(会計)、明神知(会員管理・ML 運営)、

小池昇司(JSD 研究会連絡)、渡部淳一(JSD 研究会連絡)

監事 : 内山 章、夏目真一

顧問 : 坂倉省吾先生、小林秀徳先生

担当幹事: 事業推進上で担当理事を補佐する幹事を必要に応じて会長が任命し、その内容については JSD の公告 ML で公開する。

2 2008 年度予算

(2008 年 4 月 1 日～2009 年 3 月 31 日)

	2007年度	2008年度
収入の部		
前期繰越金	<u>2,161,844</u>	<u>2,077,071</u>
個人会費	550,000	500,000
賛助会費	50,000	50,000
出版物売上	20,000	100,000
雑収入	<u>0</u>	<u>0</u>
当期収入合計	<u>620,000</u>	<u>650,000</u>
収入の部合計	<u>2,781,844</u>	<u>2,727,071</u>
支出の部		
通信費	100,000	100,000
印刷費	150,000	100,000
事務用品費	10,000	15,000
講師謝金	50,000	50,000
交通費	10,000	5,000
雑費	30,000	30,000
会議費	20,000	20,000
研究会(首都圏)補助費	50,000	50,000
研究会(全国区)補助費	50,000	50,000
研究分科会補助費	100,000	50,000
アルバイト謝金	20,000	20,000
学会誌印刷費	350,000	350,000
前年度未処理分	0	0
事務所賃貸料	<u>24,000</u>	<u>24,000</u>
当期支払合計	<u>964,000</u>	<u>864,000</u>
次期繰り越し	<u>1,817,844</u>	<u>1,863,071</u>
現金残高		
預金残高		
未払い金		
支出の部合計	<u>2,781,844</u>	<u>2,727,071</u>

添付資料—1

JSD 研究会(首都圏)の事業計画

(1)担当

小林秀徳、渡部淳一、藤本ヒトシ

(2)事業戦略

社会が複雑化する中で、SD が社会において果たすことのできる役割が拡大しているものの、SD に興味を持つ人が SD を学ぶことができる環境が限られている。

そこで、JSD 研究会(首都圏)では、①SD に興味を持っているものの、これまで本格的に学習する機会がなかった初心者や②SD について一通り学習しているものの、さらに知識を深めたい人を対象として、SD についての基礎知識を習得し、それを活用する場を提供し、SD の普及及び活性化を促進する。

(3)成長指針

上記事業戦略のとおり、SD 初心者等を対象とした研究会とすることにより、新規会員の勧誘及び既存会員の定着に貢献することが見込まれる。

(4)事業内容

以下の表のとおり、定期的に研究会を開催する。

まず、SD の基礎知識を提供するセッションを2回程度開催し、その後、SD を現実にどのように活用するかについて、経済や環境などの各分野を例に用いて理解させることを目的としたセッションを6回程度開催する。その他、特別講演を3回程度開催することを予定している。対象者は、上記(2)のとおり、①SD に興味を持っているものの、これまで本格的に学習する機会がなかった初心者や②SD について一通り学習しているものの、さらに知識を深めたい人とし、常時20人程度の出席者を見込んでいる。

なお、開催場所は一ツ橋大学丸の内産学連携センター(丸の内ビルディング内)を、開催時間は午後7時から9時を予定している。

	テーマ	開催時期	開催場所
特	政策科学・社会教育とSD	9月6日 13時～15時	丸ビル
1	システムダイナミクスとシステムシンキング	9月 19時～21時	未定
2	モデリングとシュミレーション		
3	経済学とSD	10月 19時～21時	未定
4	環境とSD		
5	法社会学とSD	11月 19時～21時	未定
6	文化人類学とSD		
特	特別講演「年金問題(仮)」	1月 19時～21時	未定
7	地域計画とSD	2月 19時～21時	未定
8	政策科学とSD		
特	総括報告会(JSD 総会と合同)	2009年 5月	学習院大学

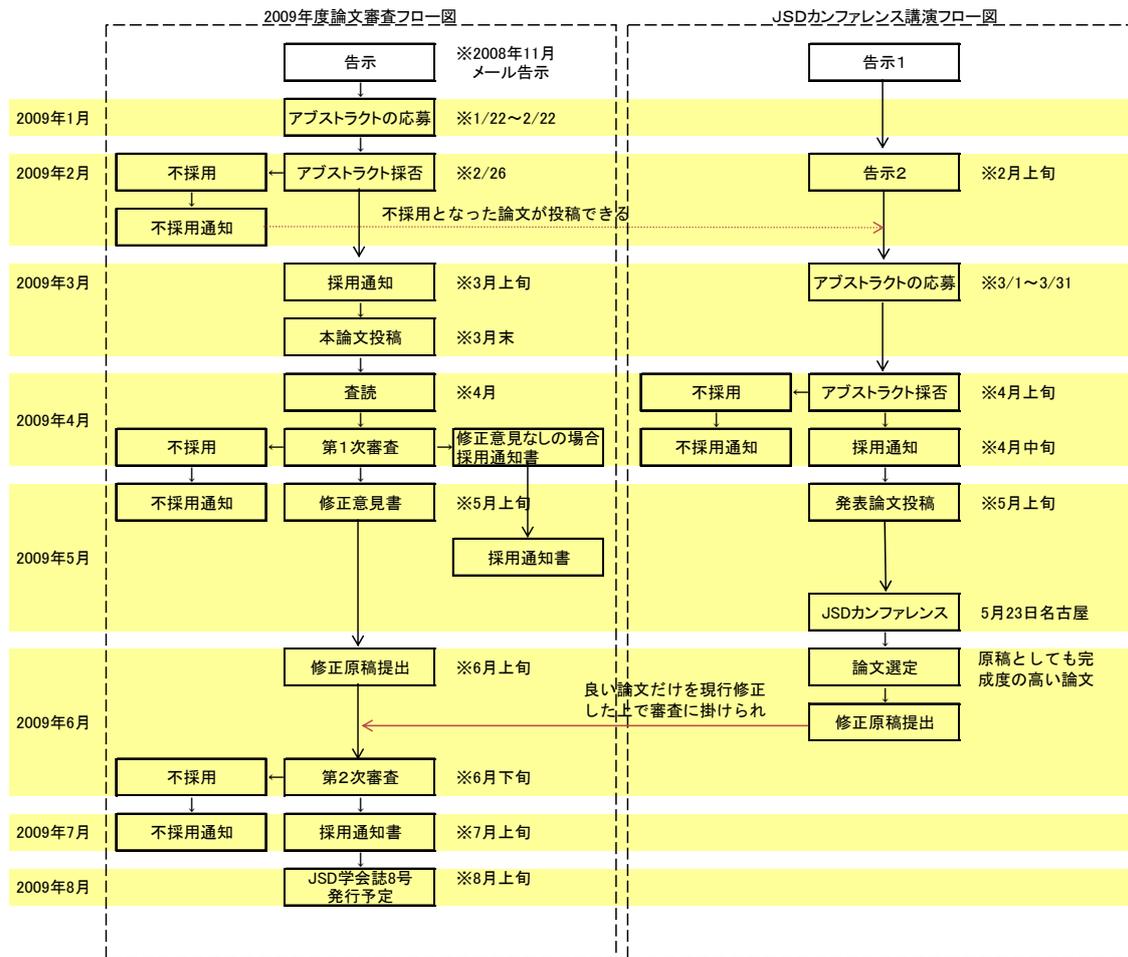
※「丸ビル」は、一ツ橋大学商学研究科丸の内産学連携センター(丸の内ビルディング内)の略

添付資料—2

JSD 研究会(全国区)の事業計画

1. 開催日時：2008年11月22日(土)
10:15~10:30 受付
10:30~12:00 SDワークショップ
13:15~17:30 JSD研究会
2. 開催場所：同志社ビジネススクール KMB319教室
〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
<http://BS.Doshisha.ac.jp/>
地下鉄「今出川」駅下車、徒歩1分 京阪「出町柳」駅下車、徒歩15分
3. 主催：システム・ダイナミクス学会日本支部(JSD)
同志社ビジネススクール システムダイナミクスグループ(DBS-SDG)
協賛：NPO法人日本未来研究センター
4. 開催形式
 - ・午前中はパソコンを用いて、DBS経営システムダイナミクスワークショップを行います。
 - ・午後はJSD研究会全国区および同志社ビジネススクール システムダイナミクスグループとして、研究結果の発表の場とする。併せて、JSD会員の募集を行う。
 - ・発表件数は6件を予定する。参加者の規模は30人(2007年と同規模)を目標とする。
5. 運営体制
 - ・運営責任者：山口 薫(DBS, JSD)
 - ・幹事：福島史郎(DBS-SDG, JSD)
 - ・運営委員：小池昇司(JSD)、栗本英和(JSD)、西川太一(JSD)
 - ・参加者：どなたでも参加できます。参加料は無料とする。
6. 日程計画
 - ・発表者募集時期：2008年10月1日までに募集を開始し、6名になり次第締め切る。
 - ・参加者募集期間：2008年10月1日までに受け付け、定員(41名)になり次第締め切る。
 - ・ワークショップの内容の決定：運営責任者の意向を反映して10月末までに決める。
7. 広報方法
 - ・JSDのホームページ、DBS-SDGからのメールにより集客する。
 - ・特徴であるワークショップによるSD活用のスキルアップを訴求ポイントとする。

添付資料—3
JSD 学会誌発行の事業計画



添付資料—4

JSD カンファレンス開催の事業計画

JSD カンファレンス 2009

統一テーマ 「未定」

1. 日 時 : 2009年5月23日(土) 受付 12:30~
13:00~15:00 発表(30分×4件程度)
15:00~15:15 休憩
15:15~17:15 発表(30分×4件程度)
17:30~18:00 総会
※懇親会は18:30~20:30名古屋大学付近あるいは本山付近
2. 場 所 : 名古屋大学環境総合館(〒464-8601名古屋市千種区不老町)
http://www.nagoya-u.ac.jp/camp/map_higashiyama/higashiyama_all.html
(48番の建物1F)
2. 開催形式
主 催 : システムダイナミクス日本支部
協 賛 : 経営情報学会ほか
4. 組 織
大会委員長 : 栗本英和(名古屋大学)
大会副委員長 : 松本憲洋(POSY Corp.)
実行委員長 : 小池昇司(リコーエレメックス株式会社)
プログラム委員長 : 近藤史人(日本HP)
委員 : 小池昇司, 近藤史人, 栗本英和, 松本憲洋, 明神知ほか
事務局 : 名古屋大学 大学院環境学研究科都市環境学専攻栗本英和研究室
幹事 西川太一
〒464-8601 名古屋市千種区不老町B4-1(780)
名古屋大学 情報文化学部・大学院環境学研究科
栗本英和研究室
5. 工程表(発表論文の募集から印刷まで)
2008年9月30日頃 : プログラム委員を中心に統一テーマの決定
2008年12月15日~2009年1月15日 : 発表論文(要旨)の募集
2009年1月31日 : 採否の発表と発表論文(予稿集)の書式の公示
2009年4月10日 : 発表論文(予稿集)の締め切り[厳守]
2009年4月25日頃 : 発表論文(予稿集)の採否の通知
(原稿が遅延した時, 不測の事態が生じた時でも, 連休明けには印刷発注)
7. 発表件数及び参加者規模
発表件数は8件程度(現時点では主催校として1件, 可能であれば計2件)
参加者は20名を目標。
8. 広報等
協賛学会, とくに経営情報学会東海支部等からの広報など。
学生及び卒業生に対して必要な広報にも進めるが10名程度か。

【参考】

システム・ダイナミクス学会日本支部 規約

第1条 (名称)

本会はシステム・ダイナミクス学会日本支部と称する。

第2条 (目的および事業)

本会はシステム・ダイナミクス学会日本支部英文規約 (Constitution of the Japanese Chapter of the System Dynamics Society, 以下規約という) 第2条に掲げる目的を達成するために次の事業を行う。

なお、事業活動に必要な規則等は別に定める。

- (1) システム・ダイナミクスに関する研究会の開催
- (2) システム・ダイナミクスに関する図書、報告書、資料等の発行
- (3) システム・ダイナミクスに関する調査研究
- (4) システム・ダイナミクスに関係ある内外の学会、その他団体との連絡協議
- (5) その他規約に掲げる目的の達成に必要な事業

第3条 (会員構成)

- 1 本会は一般会員、学生会員、賛助会員および会友をもって構成する。
- 2 一般会員および学生会員は、本会の主旨に賛同し、第4条に定める手続きにより入会したものをいう。
- 3 賛助会員は本会の主旨に賛同する団体で、第4条に定める手続きにより入会したものをいう。
なお、賛助会員は1口につき最大5名が一般会員として登録できる。
- 4 会友は国際交流の促進を図る目的で、本会の会長がシステム・ダイナミクス学会 (The System Dynamics Society) の会員の中から入会を招請したものを言う。

第4条 (入会)

- 1 入会を希望するものは、所定の入会申込書によって本会の会長に申し出なければならない。
- 2 入会は理事会において承認し決定する。

第5条 (会費)

本会の会費は一般会員については年5,000円、学生会員については年2,000円、賛助会員については1口年50,000円とする。

第6条 (退会)

- 1 一般会員、学生会員および賛助会員は本会の会長に届け出て退会することができる。
- 2 会費の滞納が1ヶ年以上におよぶときは原則としてその資格を失う。

第7条 (役員)

本会に次の役員を置く。

会長 (President)	1名
副会長 (Vice-President)	3名以内
理事 (国際担当: International Society Liaison)	1名
理事 (総務担当: Executive Director)	1名
理事	10名以内
監事	2名

第8条 (役員を選任)

- 1 会長は総会に先立つ一般会員、学生会員および賛助会員による選挙によって選出する。
選挙細則は別途定める。
- 2 副会長、理事、監事は総会において一般会員および賛助会員の中から会友を除く出席者の過半数の賛成を得て選出する。

第9条 (理事会)

- 1 理事会は役員をもって構成し、毎年の総会時および会長がその必要を認めたとき、または役員の過半数以上の要請があるときに開催する。
- 2 理事会は、本会の活動を統括する。
- 3 理事会は、必要に応じて本会の活動にかかわる事項を審議し、実行するための各種委員会・分科会を設置することができる。
- 4 会長が必要と認めたときは、幹事を置くことができる。
- 5 委員および幹事は、会長が委嘱する。
- 6 委員、幹事の任期は2年とし重任を妨げない。

第10条 (役員任期)

役員任期は2年とする。

第11条 (顧問)

会長は、理事会の議を経て、顧問を委嘱することができる。

第12条 (総会)

総会は年1回以上開催し、役員を選任、事業計画、予算、決算、規約の変更、その他重要事項を承認する。

第13条 (定足数)

総会の定足数は会員の3分の1以上、理事会の定足数は役員の2分の1以上とする。

第14条 (会計年度)

会計年度は毎年4月1日より、翌年3月31日にいたる期間とする。

第15条 (事務局)

- 1 本会の事務局を下記に置く。
〒102-0092 東京都千代田区隼町2-12-104 藤和半蔵門コープ1F POSY Corp. 内
システム・ダイナミクス学会日本支部事務局
Tel&Fax 03-3512-5358
- 2 事務局は理事 (総務担当) と幹事で構成し、理事 (総務担当) が事務局長を務める。

付 則 1 第10条の規定にかかわらず、支部発足時の役員任期は1991年12月31日までとする。

- 2 本内規は1990年9月22日より発効する。
- 3 1991年7月22日一部改正 4 1992年2月17日一部改正 5 1995年3月13日一部改正
- 6 1996年3月29日一部改正 7 2003年2月12日一部改正 8 2004年1月31日一部改正
- 9 2005年4月2日一部改正
- 10 第14条の規定にかかわらず、2005年度会計年度は、2005年1月1日から2006年3月31日までとする。

システム・ダイナミクス学会日本支部 会長選出に関する細則

- 第1条 この細則は「システム・ダイナミクス学会日本支部規約」第8条に 定めた会長の選出に関する手続きを定めるものである。
- 第2条 会長の選出は次の各項による。
- 1 会長は一般会員と賛助会員に対して、文書またはそれに準じる方法によって次期会長候補の推薦を期末45日以前に、14日間の期間を設定して求める。
 - 2 5名以上の会員が推薦し、被推薦者が候補者となることを了承することにより、代表推薦人は会長に文書またはそれに準じる方法で、以下の内容を届出る。
推薦人：氏名、住所、所属、e-mail、電話、(代表推薦人マーク)
被推薦人：氏名、住所、所属、職位/資格、e-mail、電話、専門、略歴、
JSD会長としての目標・抱負(400字以内)
 - 3 会長は規定の期間内に届出があった候補者に確認した上で、会長選挙を郵便により期末の14日以前に7日間の期間を設定して実施する。
 - 4 会長は会長選挙の結果を理事会で開封して集計し、第1位の候補に当選認定書を交付し、新役員候補の選定を促す。
 - 5 新年度の総会において会長は、新会長に権限を委譲する。

研究分科会の設立と運営に関する内規

1. 研究分科会が発足するまでのプロセス
 - ① 提案者：研究分科会の設立提案をサロン・メールで発信
 - ② 全会員：サロン・メールによる意見交換とメンバー募集
 - ③ 提案者：研究分科会の設立提案書を事務局までメールで送付
 - ④ 会長による承認
 - ⑤ 研究分科会活動開始
2. 諸規定
 - (1) 設立条件
5名以上の会員をメンバーとして、代表者が提案し、その目的がJSDの活動主旨に沿い、JSDの研究・普及活動を活発化させる可能性が認められるとき、会長は研究分科会の設立を承認する。
 - (2) 参加資格
研究分科会の活動に貢献するJSD会員は、いかなる研究分科会にも参加できる。
 - (3) 研究分科会の組織と運営
分科会には主査と幹事をおき、事務局が設定した分科会専用のMLの管理も自主的に行う。
 - (4) 研究分科会の権利と義務
 - ① 分科会メンバーの変更があった場合には、速やかに事務局に届け出る。
 - ② 研究報告を研究会で発表するよう担当理事に求められた場合には指示に従う。
 - ③ 少なくとも年1回以上はJSD研究会等で発表する。
 - ④ 会議場、コピー代など研究分科会開催に必要な経費は、領収書とともに事務局に申請すれば支払を受けることができる。ただし、各研究分科会の上限は別に定める。
3. 研究分科会の設立申請様式
メンバーリストを入力したExcelファイルと下記の申請内容を事務局メール宛に送付して申請する。
事務局：jsd-office@yahoogleroups.jp

分科会設立申請書

下記の内容の研究分科会の設立を申請します。

申請日：
申請者：
名称：研究内容が推測できる研究分科会の名前
共同申請者：添付するExcelファイルに5名以上のJSD会員名を記載
趣旨：研究分科会を立ち上げる背景と狙い、参加メンバー利得、期待できる成果、等について具体的に記載
研究内容：研究対象、研究構成、研究内容、研究計画、等について具体的に記載
研究体制：研究組織、研究実施方法、打ち合わせ頻度・形式、作業分担方法、等についてできるだけ具体的に記載

メンバーリストのExcelファイルには、代表世話人を含めて下記情報を記載。
名前、e-mailアドレス、所属機関名

編集委員会細則

- 第1条 (目的)
当日本支部規約第2条に定める事業を行うために、編集委員会を設ける。
編集委員会は、当日本支部で発行する学会誌の発行に関する諸事項の決定およびそれらの処理事項を実施する。
- 第2条 (委員会の構成)
編集委員会の構成は次の通りとする。
編集委員長 1名
編集副委員長 1名
編集委員 若干名
- 2 編集委員長と編集副委員長は当日本支部の会長が理事会メンバーの中から任命する。
- 3 編集委員は編集委員長が当日本支部の会員の中から委嘱する。
- 第3条 (委員の任期)
編集委員長、副委員長、委員の任期は2年間とする。
- 第4条 (委員会の業務)
委員長は編集委員会を招集し、次の事項を審議し処理する。
①学会誌の投稿規定の策定と論文募集
②学会誌研究論文の査読適格者の委嘱と投稿論文ごとの選任
③学会誌の編集に関わる業務
④学会誌の発行・送付に関わる業務
- 第5条 (委員会の報告)
委員長は編集委員会の審議内容、業務遂行内容を理事会に適宜報告する。
- 付則 2005年12月24日から発行する。

学会誌研究論文査読規定

1. 審査の目的
投稿された研究論文が当日本支部の学会誌に掲載するにふさわしいか否かを審査基準に基づき判断する。
2. 審査基準
投稿された研究論文は、以下の項目に照らして査読者が総合的に審査する。
分野 : システム・ダイナミクスに関連した内容であること。
論理性 : 論旨の展開が明快で、記述が簡潔・明瞭であること。
新規性 : 内容に新たな知見が盛り込まれていること。
信頼性 : 結論等を信頼するに値する客観的な考察が示されていること。
有用性 : 得られた結論・経過が学術領域あるいは実社会において有用であること。
3. 査読者
編集委員会が指名する2名の査読者が審査基準に基づき審査にあたる。査読期間は編集委員会から送付されて2ヶ月以内とする。査読適格者の氏名は公開するが、個々の投稿論文も対する査読者の氏名は公開しない。査読者と投稿者との直接の接触は許容されず、必ず編集委員会を介する。
4. 判定
査読者の審査結果に基づき研究論文は以下のいずれかに判定される。査読者の意見が割れた場合には編集委員長がこれを決する。
①そのまま掲載
②指摘事項を修正したことを編集委員長が確認して掲載
③再度査読者の審査が必要
④掲載不可

②と判定された研究論文の投稿者には掲載条件が指示される。投稿者が指示に従い修正したことを編集委員長が確認すれば掲載に分類される。投稿者に異論がある場合には、論拠を編集委員長に文書でもって提出し、編集委員会で審議の結果、提出文書が適切であると判断されたなら掲載に分類される。修正が十分でなく、また異論根拠が文書で提出されない場合には④掲載不可に分類される。
③と判定された研究論文は、修正後に査読者により出版までの時間が許容する範囲内で審査する。時間切れの場合には、④掲載不可に分類される。

メーリング・リストの使用手順

1. メーリング・リストの概要

メーリング・リストは Yahoo!グループのシステムを使用しています。現在、大きく分けて五種類のメーリング・リストを会員向けに運用しています。

メーリング・リストの種類

グループ	説明
jsd_from_office @yahoogroups.jp	JSDからの案内ML。日本支部主催の催し物、総会の案内等、公式の案内を配信するためのMLです。配信者は原則として事務局です。
jsd-renraku @yahoogroups.jp	事務局への連絡用ML。事務局へメールを送りたい場合は、このアドレスへ送信してください。
jsd-research-meeting @yahoogroups.jp	JSD研究会の開催通知の送付用ML。配信者は担当理事で、全会員に向けて送信されます。
jsd_salon @yahoogroups.jp	ディスカッション用ML。会員が全会員に向けて発信するためのMLです。会員の方であれば自由に配信することが出来ます。
jsdr_*** @yahoogroups.jp	分科会ML。分科会ごとのMLです。分科会内での議論、連絡等に使用します。

2. メールの送り方

メールは上の表の各アドレスを宛名としてメッセージを送信すれば、各メーリング・リストに登録されているメンバーへ一度にメッセージを送ることが出来ます。

例えば、jsd_salon@yahoogroups.jp には全ての会員が登録されていますので、この宛先を指定すると、全会員へメッセージが送信されます。

セキュリティの関係で、**メールには原則としてファイルを添付できません**。添付ファイルはメール本文に含めるか、またはこの後に説明するウェブ・ページ内のブリーフ・ケースにアップ・ロードして、その旨を本文に記載し、読者がそのウェブ・ページを参照する形をとってください。

3. ウェブ・ページの利用

Yahoo!グループでは、各メーリング・リスト毎に専用のウェブ・ページが用意されています。そのページ上で過去のメッセージを確認したり、ブリーフ・ケースを利用したりすることが出来ます。

(1) アクセスの準備

ウェブ・ページの利用には Yahoo! Japan ID の取得が必要となりますので、お持ちでない方は登録をお願いいたします。登録画面へは、下記の Yahoo! グループのトップ・ページから入れます。

<http://groups.yahoo.co.jp>

(2) アクセス

Yahoo! グループを利用するには、上記のページを開いてください。各メーリング・リストに対応するウェブ・

ページのURLは、上記のURLの後ろに、/group/をつけ、

その後に、各メーリング・リストのアドレスをつけます。例えば、左の表の最上段に記載した事務局からの連絡用メーリング・リストの場合には、専用ウェブ・ページのURLは次のようになります。

http://groups.yahoo.co.jp/group/jsd_from_office/

(3) ログイン

専用ウェブ・ページのURLを直接入力するか、または、Yahoo!グループのページから下記の流れに沿って対応するページに入ります。

Yahoo! グループのページを開くと、右側に下図のような Yahoo! JAPAN ID とパスワード(*)を入力する場所がありますので、それぞれを入力し、ログインボタンを押してください。

ログインした画面の右側に、自分が所属している Yahoo! グループの名前の一覧である「Myグループ」が表示されますので、開きたいページをクリックします。

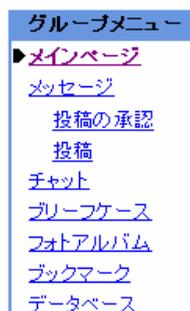
ウェブ・ページの構成の主なもの、トップ・ページであるメイン・ページとブリーフ・ケースです。ブリーフ・ケースでは、テキスト形式以外のデータもアップ・ロードして保管でき、ユーザーが自由にそのコンテンツをダウンロードできます。一方のメイン・ページでは過去のメールを確認できます。

(4) ブリーフ・ケース

事務局からの連絡用の(2)で例示したブリーフ・ケースには、JSD会員名簿、JSD総会資料、テキスト・データ以外のデータなどがアップ・ロードされ保管されています。

このようなアップ・ロードされているブリーフ・ケースのファイルを利用するには、まず利用したいファイルがアップ・ロードされているグループを選択します。

選択したグループのページに移ると下図のようなコンテンツのメニューが表示されますので、ブリーフ・ケースへのリンク行をクリックしてください。



(5) アドレス変更連絡のお願い

メールアドレスに誤りや変更があると返信エラーとなります。以後の送信が出来なくなります。**変更があるときには必ず連絡ください。**

■ ■ JSD 入会のご案内 と入会手続き ■ ■

2008年5月26日改定

システム・ダイナミクス学会日本支部(以後、JSD)は、国際学会であるシステム・ダイナミクス学会(以後、SDS)の日本支部です。JSDは学会誌の発行のほか、JSD研究会、研究分科会の開催など、会員の相互研鑽のための活動に取り組んでいます。

§ 会員資格と会費

下表の会員区分とそれに対応した会費を設定しています。

- | | | |
|---------|-----------------|------------------------------------|
| 1. 一般会員 | 年会費 5,000円 | システム・ダイナミクスに関心を持つ個人。 |
| 2. 学生会員 | 年会費 2,000円 | 主たる所属が教育機関で、常時、学生資格を有する個人。 |
| 3. 賛助会員 | 年会費(1口) 50,000円 | SD研究と普及の主旨に賛同し、JSDの活動を支援していただける団体。 |

§ 会員への案内

会員への案内と相互情報交換には、メーリング・リストを利用しています。

§ 事務局

住所 : 〒102-0092 東京都千代田区隼町2031-12 藤和半蔵門コープ1F POSY Corp. 内

電話 : 03-3512-5358

事務局 E-Mail(入会の申込み宛先) : jsd-renraku@yahoogroups.jp

URL : http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsd/index_j.html

■ JSD 入会の手続き

入会希望の方は下記項目(必須)をご記入の上、システム・ダイナミクス学会日本支部事務局へ、**メール添付ではなく、メール本文として**お送りください。理事会の承認後に、JSDの入会案内をお送りいたします。事務局で年会費の振込みを確認した時点で、入会の確定とさせていただきます。なお、2週間たっても振込みがない場合には、入会の承認を自動的に取り消すことをご了承ください。

確認事項: JSDはSDSの下部機関ですから、日本支部としての存続に必要な最小限な個人情報、SDSに送付する可能性があることをご了承ください。

システム・ダイナミクス学会日本支部会長殿

システム・ダイナミクス学会日本支部へ、(一般会員 学生会員)として入会を申し込みます。

注)一般会員、学生会員の一方を残して他を消去して下さい。

- (1)氏名(漢字表記とアルファベット表記):例名 太郎: Reimei, Taro
- (2)所属会社・機関名:
- (3)メールアドレス:
- (4)郵送宛先住所
郵便番号(〒):
住所1(区市町番地):
住所2(ビル名):
住所3(所属先へ送付の場合には会社名など):
- (5)電話番号:
- (6)入会情報は何かから/どなたから、お聞きになりましたか?:

■ 初年度会費の入金日: 年 月 日(←必ずご連絡下さい。)

§ 会費振り込み郵便口座

口座登録名 : システム・ダイナミクス学会日本支部

記号 : 10180 番号: 52553581

備考 : 振込用紙は郵便局に備え付けの用紙をお使い下さい。